

2013年12月 rev1.6

1. 誌上発表(原著論文)

(薬品部)

- Stevenson, L.*1, Rocci, M. *2, Garofolo, F.*3, DeSilva, B. *4, Katori, N. et al
1 Biogen Idec Inc., Cambridge, MA, USA, 2 ICON Development Solutions, Whitesboro, NY, USA, 3 Algorism Pharma, Montreal, QC, Canada, 4 Bristol-Myers Squibb, Princeton, NJ, USA
2013 White Paper on Recent Issues in Bioanalysis: “Hybrid” - the best of LBA & LCMS (規制バイオアナリシスの最近の課題 2013年白書:「ハブリッド - LBAとLCMSの最適法」)
Bioanalysis, **5**(23), 2903-2918 (2013)
- Wakana, D., Kawahara, N., Goda, Y.
Two new pyrrolidine alkaloids, codonopsinol C and codonopiloside A, isolated from *Codonopsis pilosula*.
(トウジン *Codonopsis pilosula* より単離された2つの新規ピロリジンアルカロイド, コドノプシノールC, コドノピロシドA)
Chem. Pharm. Bull., **61**(12): 1315-1317 (2013).

(生薬部)

- Masada-Atsumi, S., Onuma, M.*¹, Suenaga, E., Maruyama, T., Hishida, A.*², Kiuchi, F.*², Kobayashi, S.*¹, Goda, Y., Hakamatsuka, T.
*¹東京理科大学薬学部, *²医薬基盤研究所薬用植物資源研究センター
Genome-based authentication of black cohosh (*Cimicifuga racemosa*; *Ranunculaceae*) supplements available in the Japanese markets, (DNA配列情報を利用したブラックコホシユ国内市場品の基原鑑別)
Jpn. J. Food Chem. Safety **20**, 178-189 (2013)

(生活衛生化学部)

- Akiyama T, Sekiguchi W, Sugimoto N, Tada A, Ito Y, Yamazaki T, Akiyama H
Revised method for analyzing 2-acetyl-4-tetrahydroxybutylimidazole in caramel III. (カラメルⅢ中の2-アセチル-4-テトラヒドロキシブチルイミダゾール分析法の改良)
Jpn. J. Food Chem. Safety, **20**, 190-195 (2013).

(食品部)

- 齊藤静夏, 根本 了, 松田りえ子
LC-MS/MSを用いた茶熱湯浸出液中の残留農薬一斉分析法
日本食品化学学会誌, **20**(3), 221-225 (2013)
- 鍋師裕美, 菊地博之, 堤 智昭, 蜂須賀暁子, 松田りえ子
牛肉部位間の放射性セシウム濃度の差について
食品衛生学雑誌, **54**(6), 415-418(2013)

(食品衛生管理部)

- 與儀健太郎¹⁾²⁾, 大城直雅, 松田聖子²⁾, 佐久川さつき²⁾, 松尾敏明³⁾, 安元健⁴⁾
 1)琉球大学医学部保健学科, 2)沖縄県衛生環境研究所, 3)加計呂麻徳洲会診療所, 4)財団法人日本食品分析センター
奄美大島・加計呂麻島におけるシガテラ原因魚の毒組成解析
 食品衛生学雑誌, **54**(6), 385-391, 2013
- (衛生微生物部)
- Jones, J.L.* , Benner, R.A.* , DePaola, A.*. and Hara-Kudo, Y.
 *米国食品医薬品局
Vibrio densities in the intestinal contents of finfish from coastal Alabama. (アラバマ州沿岸由来魚における内臓中のビブリオ菌数)
Agric. Food Anal. Bacteriol. **3**, 186-194 (2013)
- (有機化学部)
- Demizu, Y., Yamashita, H., Yamazaki, N., Sato, Y., Doi, M.*¹, Tanaka, M.*², Kurihara, M.
 *¹大阪薬大, *²長崎大院医歯薬
Oligopeptides with equal amounts of L- and D-amino acids may prefer a helix screw sense (同数のL-アミノ酸, D-アミノ酸から構成されるオリゴペプチドのヘリカル構造制御)
J. Org. Chem, **78**, 12106-12113 (2013)
- (医薬安全科学部)
- Takahashi, H.*¹, Kaniwa, N., Saito, Y., Sai, K., Hamaguchi, T.*¹, Shirao, K.*¹, Shimada, Y.*¹, Matsumura, Y.*¹, Ohtsu, A.*¹, Yoshino, T.*¹, Takahashi, A.*², Odaka, Y.*¹, Okuyama, M.*¹, Sawada, J., Sakamoto, H.*¹, Yoshida, T.*¹
 *¹国立がんセンター, *²中部大学
Identification of a candidate single-nucleotide polymorphism related to chemotherapeutic response through a combination of knowledge-based algorithm and hypothesis-free genomic data (仮説非依存及び知識に基づくアルゴリズムの組合せによる化学療法剤に対する反応性と関連する一塩基多型の同定)
J. Biosci. Bioengineering. **116** (6), 768-773 (2013)
- (病理部)
- Okamura, T., Umemura, T., Inoue, T., Tasaki, M., Ishii, Y., Nakamura, Y.*¹, Park, E.Y.*¹, Sato, K.*¹, Matsuo, T.*², Okamoto, S.*², Nishikawa, A., and Ogawa, K.
 *¹ 京都府立大学, *² 鹿児島大学
Chemopreventive effects of 4-methylthio-3-butenyl isothiocyanate (raphasatin) but not curcumin against pancreatic carcinogenesis in hamsters. (ハムスターの膵発がんに対して4-methylthio-3-butenyl isothiocyanate (ラファサチン)は抑制作用を示すが、クルクミンは示さない)
J. Agric. Food Chem. **61**, 2103-2108 (2013)
- (変異遺伝部)
- Horibata K, Ukai A, Kimoto T*, Suzuki T, Kamoshita N, Masumura K, Nohmi T, Honma M.

* 帝人ファーマ

Evaluation of *in vivo* genotoxicity induced by N-ethyl-N-nitrosourea, benzo[a]pyrene, and 4-nitroquinoline-1-oxide in the Pig-a and *gpt* assays.

(Pig-a および *gpt* アッセイを用いたエチルニトロソウレア、ベンツピレンおよび4-ニトロキノリン 1-オキシドの *in vivo* 遺伝毒性評価)

Environmental and Molecular Mutagenesis. 2013;54(9): 747-54.

(総合評価室)

- Mirokuji Y^{*1}, Abe H^{*2}, Okamura H^{*1}, Saito K^{*1}, Sekiya F^{*1}, Hayashi SM^{*1}, Maruyama S^{*1}, Ono A, Nakajima M^{*3}, Degawa M^{*4}, Ozawa S^{*5}, Shibutani M^{*2}, Maitani T^{*4}.

*1 Japan Flavor and Fragrance Materials Association *2 Tokyo University of Agriculture and Technology *3 BioSafety Research Center *4 University of Shizuoka *5 Iwate Medical University

The JFFMA assessment of flavoring substances structurally related to menthol and uniquely used in Japan. (構造的にメントールに関連しており、我が国独自で使用されているメントール構造類似香料の JFFMA 評価)

Food Chem Toxicol, 64, 314-321, 2013

2. 誌上発表(総説・解説等)

(薬品部)

- 加藤くみ子, 中西健*1, 小崎雅人*2, 松田嘉弘*3, 平野舞*3, 花田博幸*4, 久田茂*5, 小野寺博志*3, 西山伸宏*6, 原島秀吉*7, 松村保広*8, 片岡一則*9,10, 奥田晴宏, 川西徹

1 日本化薬株式会社医薬開発本部 2 興和株式会社富士研究所 3 医薬品医療機器総合機構 4 ナノキャリア株式会社 5 あすか製薬株式会社開発研究センター 6 東京工業大学資源化学研究所 7 北海道大学大学院薬学研究院 8 国立がん研究センター東病院 9 東京大学大学院工学系研究科 10 東京大学大学院医学系研究科

ブロック共重合体ミセル医薬品の評価

医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス 44(12) 968-975, 2013

(生物薬品部)

- 石井明子
リガンド結合法を用いた生体試料中薬物濃度分析法に関するガイドラインの策定状況
Chromatography, 34(3),151-156 (2013)

(食品部)

- 堤 智昭, 松田りえ子
食品からのダイオキシン類の摂取量推定
食品衛生研究, 63(12), 7-19, 2013

(安全情報部)

- 窪田邦宏, 天沼 宏, 春日文子
海外におけるボツリヌス食中毒アウトブレイク
食品衛生研究, 765号(63巻12号), 21-33 (2013)

(医薬安全科学部)

- 斎藤嘉朗, 佐井君江, 鹿庭なほ子, 田島陽子, 石川将己, 最上(西巻)知子, 前川京子
バイオマーカー探索研究とその臨床応用に向けて
薬学雑誌, 133(12), 1373-1379 (2013)

(薬理部)

- 小島 肇
技術講座 安全性評価試験 (26) 実験動物を用いない眼刺激性試験
COSME TECH JAPAN, 3 (12) 44-48 (2013)

3. 単行本

(衛生微生物部)

- 大西貴弘 共著
微生物の簡易迅速検査法
テクノシステム, 大阪府, 2013, 549-554
従来の検査法に代わる簡易迅速検査法の寄生虫検査への応用について解説した。

4. 学会・講演等

(薬品部)

- 竹内理沙*1、斎藤奈央子*1、深水啓朗*1、山本佳久*2、小出達夫、香取典子、鈴木豊史*1、伴野和夫*1
*1 日大薬、*2 帝京平成大薬
ネット経由で個人輸入される医療用医薬品の品質評価-アトルバスタチン Ca 錠の場合
第 19 回創薬フォーラム若手研究会 (2013.12) (千葉)
- 小島理美*1、竹内理紗*2、山本佳久*1、深水啓朗*2、小出達夫、香取典子、鈴木豊史*2、伴野和夫*2
*1 帝京平成大薬、*2 日大薬、
加熱融解したアセトアミノフェン坐剤における主薬の均一性
第 19 回創薬フォーラム若手研究会 (2013.12) (千葉)
- 坂本知昭
OMCL 認定に向けた国立医薬品食品衛生研究所の取り組みと PIC/S オンサイト査察について
日本 PDA 製薬学会第 20 回年会
タワーホール船堀、平成 25 年 12 月 3 日
- 小出達夫
飛行時間型二次イオン質量分析法 (TOF-SIMS) を用いた医薬品製剤のイメージング
第 19 回創薬フォーラム若手研究会
2013.12 (千葉)

(生物薬品部)

- Nagase, S.*¹, Yamashita, M.*¹, Iida, M.*¹, Shirasago, Y.*², Fukasawa, M.*², Tada, M., Ishii, A., Watari, A.*¹, Yagi, K.*¹, Kondoh, M.*¹
*¹ 大阪大学, *² 国立感染症研
Claudin-1-specific monoclonal antibodies and their inhibitory activity against hepatitis C virus infection
(クローディン 1 特異的モノクローナル抗体の HCV 感染阻害活性)

- IBC's 24th annual Antibody Engineering & Therapeutics
(2013.12) Huntington Beach, CA, USA
- Iida, M.^{*1}, Li, X.^{*1}, Kuniyasu, H.^{*2}, Fukasawa, M.^{*3}, Tada, M., Ishii, A., Watari, A.^{*1}, Yagi, K.^{*1}, Kondoh, M.^{*1}
*¹大阪大学, *²奈良県立医科大学, *³国立感染研
Development of claudin-4-specific monoclonal antibodies and their anti-tumor activities (クローデイン4特異的モノクローナル抗体の開発と抗腫瘍活性)
IBC's 24th annual Antibody Engineering & Therapeutics
(2013.12) Huntington Beach, CA, USA
 - 佐藤陽治
再生医療製品(細胞・組織加工製品)の品質・安全性のための科学
第34回 日本臨床薬理学会学術集会(2013.12)(東京都千代田区)
 - Kuroda, T., Yasuda, S., Kusakawa, S., Kawamata, S.^{*}, Sato, Y.
*先端医療振興財団
Application of droplet digital PCR technology to detection of residual undifferentiated cells in cardiomyocytes derived from human iPS cells. (ドロップレットデジタルPCR技術によるヒトiPS細胞由来心筋細胞に残存する未分化細胞の検出)
World Stem Cell Summit 2013 (2013.12) (San Diego, CA, USA)
- (遺伝子細胞医薬部)
- Kusakawa, S., Machida, K.¹, Yasuda, S., Takada, N., Kuroda, T., Sawada, R., Matsuyama, A.², Tsutsumi, H.¹, Kawamata, S.², Sato, Y.
¹実験動物中央研究所, ²先端医療振興財団
Characterization of *in vivo* tumorigenicity test using severe immunodeficient NOG mice for quality assessment of human cell-processed therapeutic products. (ヒト細胞加工治療製品の品質評価を目的とした重度免疫不全NOGマウスを用いた*in vivo*造腫瘍性試験のキャラクタリゼーション)
World Stem Cell Summit 2013 (2013.12) (San Diego CA, USA)
- (医療機器部)
- 河野健, 新見伸吾, 澤田留美
間葉系幹細胞におけるレトロトランスポジションの解析とその影響に関する研究
第36回日本分子生物学会年会(2013.12)(兵庫県神戸市)
 - Uematsu, M., Haishima, Y., Nakaoka, R., Niimi, S., Segawa, K., Nakano, T.
A Novel Evaluation Methodology of Materials for Medical Devices Based on Molecular Dynamics Simulation (分子動力的シミュレーションをベースにした医療機器のための材料の新規評価方法)
15th International Conference on Biomedical Engineering, December 2013, Singapore

(生活衛生化学部)

- 五十嵐良明, 久保田領志, 小林憲弘, 田原麻衣子, 杉本直樹, 安藤正典^{*1}, 小嶋 隼^{*2}, 尾川 毅^{*2}
^{*1}山梨大学 ^{*2}厚生労働省健康局水道課
平成 24 年度水水質検査精度管理のための統一試料調査の結果および留意点について*
 平成 25 年度全国会議 (水道研究発表会) (2013.10)(福島県郡山市)
- 久保田領志, 小林憲弘, 田原麻衣子, 今村悠佑^{*1}, 木村謙治^{*1}, 小林利男^{*2}, 齋藤信裕^{*3}, 杉本智美^{*4}, 林 広宣^{*5}, 古谷智仁^{*6}, 舟洞健二^{*2}, 三枝慎一郎^{*7}, 山田義隆^{*8}, 杉本直樹, 西村哲治^{*9}, 五十嵐良明
^{*1}福岡地区水道企業団, ^{*2}東京都水道局, ^{*3}仙台市水道局, ^{*4}名古屋市上下水道局, ^{*5}大阪市水道局, ^{*6}横浜市水道局, ^{*7}広島市水道局, ^{*8}千葉県水道局, ^{*9}帝京平成大学
固相抽出-誘導体化 GC/MS 法による EDTA 検査法の妥当性評価*
 平成 25 年度全国会議 (水道研究発表会) (2013.10)(福島県郡山市)
- 小林憲弘, 久保田領志, 田原麻衣子, 木村謙治^{*1}, 林広宣^{*2}, 山田義隆^{*3}, 小林利男^{*4}, 舟洞健二^{*4}, 三枝慎一郎^{*5}, 古谷智仁^{*6}, 杉本智美^{*7}, 五十嵐良明
^{*1}福岡地区水道企業団, ^{*2}大阪市水道局, ^{*3}千葉県水道局, ^{*4}東京都水道局, ^{*5}広島市水道局, ^{*6}横浜市水道局, ^{*7}名古屋市上下水道局
固相抽出-GC/MS による水道水中農薬類の一斉分析法の妥当性評価*
 平成 25 年度全国会議 (水道研究発表会) (2013.10)(福島県郡山市)
- 神野透人, 大河原晋^{*}, 岡元陽子, 田原麻衣子, 川原陽子, 真弓加織, 五十嵐良明, 香川(田中)聡子
^{*}九州保健福祉大学
柔軟剤中の香料による気道刺激に関する研究
 室内環境学会学術大会 (2013.12)(長崎県佐世保市)
- 香川(田中)聡子, 大河原晋^{*}, 田原麻衣子, 岡元陽子, 川原陽子, 真弓加織, 五十嵐良明, 神野透人
^{*}九州保健福祉大学
家庭用品中の抗菌剤による気道刺激に関する研究
 室内環境学会学術大会 (2013.12)(長崎県佐世保市)
- 岡元陽子, 伊東大我^{*1}, 前田成美^{*2}, 真弓加織, 川原陽子, 田原麻衣子, 香川(田中)聡子, 五十嵐良明, 神野透人
^{*1}東京医薬専門学校, ^{*2}東京バイオテクノロジー
室内空气中総揮発性有機化合物濃度の評価方法に関する研究: 瞬時値と 24 時間平均値の比較
 室内環境学会学術大会 (2013.12)(長崎県佐世保市)
- 田原麻衣子, 岡元陽子, 香川(田中)聡子, 真弓加織, 川原陽子, 神野透人, 五十嵐良明
カーペットから放散される揮発性有機化合物の簡易試験法に関する研究
 室内環境学会学術大会 (2013.12)(長崎県佐世保市)
- 内野 正, 清水久美子, 竹澤俊明^{*1}, 山下邦彦^{*2}, 小島 肇, 秋山卓美, 五十嵐良明

*¹農業生物資源研究所, *²(株)ダイセル
**ビトリゲルチャンバーを用いた皮膚感作性試験代替
 モデル (下面暴露法)**

日本動物実験代替法学会第26回大会(2013.12)(京都府
 京都市)

- 河上強志, 伊佐間和郎, 五十嵐良明
**PVA 製冷感タオル中のイソチアゾリノン系防腐剤に
 ついて**
 第43回日本アレルギー・接触皮膚炎学会総会学術大
 会 (2013.12)(石川県金沢市)
- 河上強志
家庭用品中の接触皮膚炎を引き起こす防腐剤の実態
 第56回日本環境化学講演会「—生活環境中の化学物
 質に関する講演会 POPs 条約会議の動向・食品・一般
 家庭用品・室内環境・化成品及び不純物など—」
 (2013.12)(東京都墨田区)

(食品部)

- 手島 玲子
経皮感作のメカニズムと食物感作のクロストーク
 第43回日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会総会学
 術大会 (2013.12)(石川県金沢市)
- 佐藤里絵*¹, 亀山(大西)真由美*¹, 手島玲子
 *¹農研機構食品総合研究所
Identification of IgE-binding proteins in buckwheat
 5th International Symposium on Molecular Allergology
 (ISMA 2013)(2013.12)(ウィーン、オーストリア)
- 堤 智昭
**食品中の有害物質の実態調査および摂取量調査 ～
 ダイオキシン類、多環芳香族炭化水素類、放射性物
 質を中心に～**
 第56回日本環境化学会講演会
 東京都墨田区, 2013.12

(有機化学部)

- 古場百合恵*¹, 平田陽子*¹, 出水庸介, 栗原正明, 土
 井光暢*², 大庭誠*¹, 田中正一*¹
 *¹長崎大院医歯薬, *²大阪薬大
**アセタールを有するキラルな5員環アミノ酸よりな
 るペプチドの二次構造解析**
 第30回日本薬学会九州支部大会 (2013. 12) (長崎県
 長崎市)
- 小野京*¹, 島袋充史*¹, 大庭誠*¹, 土井光暢*², 出水庸
 介, 栗原正明, 田中正一*¹
 *¹長崎大院医歯薬, *²大阪薬大
**光学活性5員環メチオニンよりなるペプチドの二次
 構造解析**
 第30回日本薬学会九州支部大会 (2013. 12) (長崎県
 長崎市)
- 梅森*, 山本耕介*, 岡住三枝子*, 出水庸介, 栗原正明,
 末宗洋*, 白井一晃*
 *九大院薬
**生体触媒を利用したアセトキシ [5] ヘリセン類の速
 度論的光学分割**
 第30回日本薬学会九州支部大会 (2013. 12) (長崎県
 長崎市)

(機能生化学部)

- 服部 隆行, 高橋 美帆*, 大岡 伸通, 西川 喜代孝*, 内藤 幹彦
*同志社大学生命医科学部
プロテアソーム阻害によるシガトキシン誘導性アポトーシス様細胞死の抑制
第36回日本分子生物学会年会 (2013.12) (兵庫県神戸市)

(医薬安全科学部)

- 斎藤嘉朗, 杉山永見子, 松澤由美子, 阿佐野霞*, 高松昭司*, 佐井君江
*医薬品医療機器総合機構
遺伝子多型からみた東アジア圏の民族差
第34回日本臨床薬理学会学術総会 (2013.12) (東京都千代田区)
- 齊藤公亮, 前川京子, 浦田政代, 村山真由子, 妹尾勇弥, 石川将己, 田島陽子, 中津則之*, 山田弘*, 斎藤嘉朗
*医薬基盤研
メタボロミクスを用いた肝臓性リン脂質症の血中バイオマーカー探索
第34回日本臨床薬理学会学術総会 (2013.12) (東京都千代田区)

(毒性部)

- Okubo, Y., Sugawara, T.*, Abe, N.*, Kanno, J., Kimura, A.*, Saga, Y.*
*National Institute of Genetics
The Mechanism to Generate the Synchronized Oscillation of the Mouse Segmentation Clock via Notch Signaling.(Notch シグナルを介したマウス体節時計の細胞間同調機構)
第36回日本分子生物学会 (2013.12) (兵庫県神戸市)
- Hirabayashi, Y., Tsuboi, I.*, Igarashi, K., Kanno, J., Inoue, T.
*日大医学部
Gene expression profiling of hematopoietic stem/progenitor cells in elderly mice after a single dose of whole-body irradiation at 6 weeks of age.
第36回日本分子生物学会 (2013.12) (兵庫県神戸市)
- Takahashi, Y., Yasuhiko, Y., Takahashi, J.1), Takada, S.1), Johnson, R. L.2), Saga, Y.3) and Kanno, J.
1) 岡崎統合バイオサイエンス研究所, 2) テキサス大学, 3) 国立遺伝研
Metameric pattern of intervertebral disc/vertebral body is generated independently of Mesp2/Ripply-mediated rostro-caudal patterning of somites in the mouse embryo. (マウス胚において椎間板と椎体の繰り返しパターンは Mesp2/Ripply を介した体節の前後極性とは独立に形成される)
第36回日本分子生物学会 (2013.12) (兵庫県神戸市)
- Hirabayashi, Y., Tsuboi, I.*1, Yoon, B.I.*2, Kanno, J., Trosko, J.E.*3, Inoue, T.
*1 日大医学部 *2 韓国江原大獣医学部*3 米国ミシガン州立大学

Role of Connexin 32 in Hematopoiesis: maintaining quiescence of hematopoietic stem cells and their proliferation.

55th American Society of Hematology Annual Meeting and Exposition (2013.12.11) (New Orleans,MO,USA)

(薬理部)

- 黒川 洵子^{*}, 諫田 泰成, 古川 哲史^{*}
*東京医科歯科大学
- iPS 心筋を用いた心機能評価**
第 23 回日本循環薬理学会 (2013.12) (福岡県福岡市)
- 山田 茂, 古武 弥一郎^{*}, 関野 祐子, 諫田 泰成
*広島大学
- トリブチルスズの新規標的分子 IDH3 の同定**
第 36 回日本分子生物学会 (2013.12) (兵庫県神戸市)
- 小島 肇
- J a C V A M 国際シンポジウム：日本動物実験代替法学会の活動**
日本動物実験代替法学会 第 26 回大会 (2013.12) (京都府京都市)
- 小島 肇
- シンポジウム 4：動物実験代替法の化粧品規制に関する現状**
日本動物実験代替法学会 第 26 回大会 (2013.12) (京都府京都市)
- 小島 肇
- ランチョンセミナー：動物実験代替法開発における課題とカイコの可能性**
日本動物実験代替法学会 第 26 回大会 (2013.12) (京都府京都市)
- 木村 裕^{*1}, 藤村 千鶴^{*1}, 渡辺 美香^{*2}, 齋藤 るみ子^{*2,3}, 鈴木 紀之^{*4}, 岩城 知子^{*5}, 山影 康次^{*2}, 斎藤 幸一^{*4}, 中島 芳浩^{*5}, 近江谷 克裕^{*6}, 酒井 綾子^{*2}, 丸谷 あおい^{*7}, 大森 崇^{*7}, 山崎 晶次郎^{*8}, 小島 肇, 田中 憲穂^{*8}, 相場 節也^{*1}
*1 東北大学大学院医学系研究科皮膚科学講座, *2(一財)食薬センター 秦野研究所, *3 東北大学 東北メディカル・メガバンク機構, *4 住友化学(株) 生物環境科学研究所, *5(独)産総研・健康工学研究部門, *6(独)産総研・バイオメディカル研究部門, *7 同志社大学 文化情報学部, *8(公財)鳥取県産業振興機構
- IL-8 Luc assay の施設間差試験およびデータセットの作製**
日本動物実験代替法学会 第 26 回大会 (2013.12) (京都府京都市)
- 丸谷 あおい^{*1}, 相場 節也^{*2}, 木村 裕^{*2}, 渡辺 美香^{*3}, 鈴木 紀之^{*4}, 岩城 知子^{*5}, 山影 康次^{*3}, 斎藤 幸一^{*4}, 中島 芳浩^{*5}, 近江谷 克裕^{*6}, 山崎 晶次郎^{*3}, 小島 肇, 田中 憲穂^{*3}, 小林 眞弓^{*1}, 森 梓^{*1}, 大森 崇^{*1}
*1 同志社大学 文化情報学部, *2 東北大学大学院医学系研究科皮膚科学講座, *3(一財)食薬センター 秦野研究所, *4 住友化学(株) 生物環境科学研究所, *5(独)産総研・健康工学研究部門, *6(独)産総研・バイオメディカル研究部門

IL-8 Luc assayにおけるばらつきを考慮した班手基準の提案

日本動物実験代替法学会 第26回大会(2013.12)(京都府京都市)

- H.Kojima, W. Stokes^{*1}, I. Horii^{*2}, K.B. Hwan^{*3} and H. Spielmann^{*4}

^{*1}National Institute of Environmental and Health Sciences,

^{*2}Pfizer, ^{*3}Keimyung University, ^{*4}Free University Berlin

Peer Review Panel of the Japanese validation study of the ROS *in vitro* phototoxicity for ICH (ICHのためのROS *in vitro* 光毒性試験バリデーション研究の第三者評価)

日本動物実験代替法学会 第26回大会(2013.12)(京都府京都市)

- 加藤 義直^{*1}, 山本 直樹^{*2}, 佐藤 淳^{*1}, 中田 悟^{*1}, 小島 肇

^{*1}日本メナード化粧品株式会社, ^{*2}藤田保健衛生大学 共同利用研究施設

不死化ヒト角膜上皮細胞株 (iHCE-NY) を用いた三次元角膜再構築モデルの作製

日本動物実験代替法学会 第26回大会(2013.12)(京都府京都市)

- 古川 正敏^{*1}, 榊原 隆史^{*1}, 六川 潤美^{*1}, 伊藤浩太^{*1}, 佐々木 啓^{*1}, 平賀 武夫^{*2}, 小島 肇, 松浦 正男^{*1}

^{*1}(株)化合物安全性研究所, ^{*2}酪農学園大学 獣医学部

牛角膜を用いた混濁度および透過性試験法 (BCOP法) における被験物質の濃度および曝露時間の影響

日本動物実験代替法学会 第26回大会(2013.12)(京都府京都市)

- 大森 崇^{*1}, 簾内 桃子, 池田 英史^{*2}, 中村 香織^{*3}, 鄭美淑^{*4}, 山影 康次^{*5}, 萩野 滋延^{*6}, 小島 肇

^{*1}同志社大学文化情報学部, ^{*2}日本コルマー (株)研究

開発本部, ^{*3}(株)ボゾリサーチセンター東京研究所,

^{*4}(株)バイオトクステック, ^{*5}(一財)食品薬品安全センター

秦野研究所, ^{*6}(株)資生堂リサーチセンター

SIRC-CVS 試験を用いた眼刺激性評価代替法の国際バリデーション研究 (II)

日本動物実験代替法学会 第26回大会(2013.12)(京都府京都市)

- 小島 肇, Nicole Kleinstreuer^{*1}, Chae-Hyung Lim^{*2}, 寒水 孝司^{*3}, 渡辺 美香^{*4}, 新妻 健^{*4}, 山下 邦彦^{*5}, 福田 隆之^{*6}, 山口 典子^{*6}, 藤原 聖^{*6}, 山口 宏之^{*7, 8}, 竹澤 俊明^{*7}

^{*1}ILS/NICEATM/ICCVAM, ^{*2}KOCVAM/MFDS, ^{*3}京都大学,

^{*4}(一財)食品薬品安全センター 秦野研究所,

^{*5}(株)ダイセル, ^{*6}(株)ボゾリサーチセンター,

^{*7}(独)農業生物資源研究所, ^{*8}関東化学 (株)

Vitriige-EIT (Eye Irritancy Test) 法のプレバリデーション研究

日本動物実験代替法学会 第26回大会(2013.12)(京都府京都市)

- 成田和人^{*1}, 石原有人^{*1}, 小島 肇, 板垣 宏^{*1}

^{*1}横浜国立大学大学院 工学府

培養細胞を用いた試験における難水溶性物質の暴露

方法の検討

日本動物実験代替法学会 第26回大会(2013.12)(京都府京都市)

- 石田誠一

創薬支援に有用なヒト肝 *in vitro* *in silico* 代謝・輸送予測モデルの提案と薬物動態評価における実証

——シンポジウムの総括——

日本動物実験代替法学会 第26回大会(2013.12)(京都府京都市)

(病理部)

- Tsukamoto T^{*1}, Toyoda T, Kiriya Y^{*1}, Tatematsu M^{*2}
*¹ Fujita Health University, *² Japan Bioassay Research Center

Gene expression analysis of a *Helicobacter pylori*-infected and high-salt diet-treated mouse gastric tumor model: identification of CD177 as a novel prognostic factor in patients with gastric cancer(ヘリコバクター・ピロリ感染および高食塩食併用マウスモデルを用いた胃粘膜遺伝子発現解析)

The 4th JCA (Japan Cancer Association)

-AACR (American Association for Cancer Research)

Special Joint Conference (2013.12) (千葉県千葉市)

5. レギュラトリーサイエンス関連国際会議報告

(薬理部)

- 小島 肇

OECD skin irritation/corrosion expert group (OECD 皮膚刺激性/腐食性専門家グループ会議)

ベルリン(ドイツ), 2013年12月9-10日

OECD 皮膚刺激性専門家会議に参加し、検討が進んでいる皮膚刺激性/腐食性ガイダンス案の内容について討論した。

(総合評価室)

- 広瀬 明彦

The expert meeting of the World Health Organization Guidelines for drinking-water quality (世界保健機関飲料水ガイドライン専門家会議)

スイス(ジュネーブ)、2013年12月1日~12月6日

WHOの飲料水水質ガイドラインの第5版に向けた化学物質関係の検討項目について3月の合同専門会会議において優先順位が高く設定された化学物質を中心に議論された。JMPRや国際的評価機関に評価された物質については評価結果を引用する形でバックグラウンドドキュメントを簡素化することが合意された。

- 広瀬 明彦

OECD the 12th Meeting of the Working Party on Manufactured Nanomaterials (OECD 第12回工業用ナノ材料作業部会会議)

フランス(パリ)、2013年12月8日~12月14日
スポンサーシッププログラムによる Dossier は、サマリーレポートの公開を目指すこととなった。ナノ材料に特化した OECD テストガイドライン等に関して7

つの改定計画書が WNT に提出されたことや、遺伝毒性、Toxico-kinetics、カテゴリーゼーションに関するワークショップに関する説明があった。

- 小野 敦

The 11th meeting of Validation Management Group for Non-Animal Testing in OECD-EDTA (OECD-内分泌かく乱物質の試験・評価プログラムタスクフォースにおける第 11 回非動物試験検証管理グループ会議)

フランス (パリ)、2013 年 12 月 1 日～12 月 6 日
我が国が中心となってバリデーションを進めている、ER STTA アンタゴニスト評価系及び AR STTA 系について進捗状況の報告を行った。

6.新聞・テレビ等

(生活衛生化学部)

- 小林憲弘

健康への影響 専門家に聞く

北海道新聞 12 月 6 日朝刊

北海道室蘭市の公園で基準値の 20 倍の土壌中鉛が検出された問題で、土壌中鉛の基準値の意味について解説するとともに、健康への影響について「直ぐに人の健康被害が生じるものではないが、適切な対応策を講じるためには、鉛以外の汚染も含めて汚染状況の全体像を正確に把握することが必要である。」とコメントした。